

■栄光サッカークリニック(第7回:実施レポート)

◇日時:2019年11月24日(日)13:00~15:00

◇場所:栄光(談話スペース)

◇参加者:出口先生、小林先生、柴野先生、千野コーチ、高橋

◇内容:中学公式戦の反省、練習課題、今後のスケジュール相談

(1)中学校公式戦の反省

※9月から新チーム結成。

※第一試合:栄光(0vs2)手広中、第二試合:栄光(6vs0)鎌学。

※湘南地区大会の優勝一深沢中、準優勝一手広中、三位一大船中。

<http://taorma.g2.xrea.com/> (詳細は、公式ページ参照)

1) 第一試合と第二試合はメンバーが同じなのに、結果が大きく違った原因は？

- ・第一試合では、立ち上がりから選手が全員眠っていて、試合モードになっていなかった。
- ・試合に至る直前に守備練習でバックがボールを奪い、自陣でキープして回しながら試合を組み立てて前線の攻撃につなげる練習をしていたが、バックがビルドを持った時点で思うように回せず、結局後ろ向きの消極的なサッカーになっていた。
- ・試合開始直前に予定メンバーに変更などがあり、選手の意識が試合に集中できていなかった。
- ・第二試合の時には、選手全員が第一試合の状況を反省して多少意識が変わって、自分たちの攻撃サッカーができていた。

2) 試合前のウォーミングアップがうまくできていなかった。

- ・顧問は本部詰めなどがあるため、アップなどは選手に任せる方向になるが、きちんと指導の必要あり。

3) メンバー組合せ

- ・バックに急きょ指名された選手二人がスピード不足で、意識も消極的になっていた。
- ・ディフェンス陣からのビルドアップが遅かった。

4) コーナーキックの練習不足

- ・セットプレーの練習が未だできていない。

5) CFがドリブルで頑張る以外の攻撃パターンが安定していない。

- ・まだロングキックが蹴れない。
- ・クロスパスで相手バックスの裏を狙う事ができてない。

6) 第二試合の勝因

- ・第一試合終了後に選手達が気持ちの整理がついた。
- ・第二試合相手弱かった。
- ・CFのシミュレーションが気になるが、得点力もあり攻撃できていた。

<千野コーチコメント>

- ・トップ(CF)が持ち込んでシュートする以外の攻撃パターンを体得しよう。
- ・攻撃に際して、中盤でつなぐ努力を学ぼう。(salidaなどの練習方法あり。)

(2)課題

- ◇選手の気持ちのコントロールの訓練。
- ◇試合前のウォーミングアップの手順。
- ◇ショートパスでつなぐ攻撃パターンの体得。
 - ・つなぎ方の練習—6vs6, 5vs5 など。
 - ・ラインゴール、2タッチなどのバリエーション。
 - ・ゴールを設定する時には、奇数で対戦する方が効果的。
- ◇ロングキックの練習
 - ・個人差あるが、徐々に練習を積んで行く。
 - ・ディフェンスラインから相手バックスの裏を狙うパスの練習。
- ◇攻撃パターンの練習。
 - ・Salida など
- ◇CKなどのセットプレーの練習。
- ◇ヘディングの練習。

(3)今後のスケジュール相談

- ◇上記の反省と課題などをベースに、グラウンドで実践アドバイスをを行う予定。
 - ・特別な練習方法がある訳ではない。
 - ・日常の練習の中で、詳細の練習ポイントを解説して行く。
- ◇12月～3月まで、学校のスケジュールに合わせて、月一回くらいのペースで実践アドバイスを実施。
 - ・12月は、前半は期末試験の期間や、湘南ブロック大会などの予定があるため、後半にグラウンドで実践クリニックをやるのが妥当だと思えるが、12月26日、27日に有志合宿@御殿場の予定あり。
 - ・従って、次回クリニックは、12月24日(火)の練習試合の観戦、またはブロック大会(トーナメント)で敗退していれば12月22日(日)にクリニック開催という選択に至る。今後の状況に応じて、日程は引き続き相談とする。

~~~~~

以上